

近畿青税

No.248

2021年1月31日発行

近畿青年税理士連盟

事務局:大阪府中央区船越町1-1-11 大手前ハウス202号室

TEL:06-6809-2734 FAX:06-6809-2735

URL <https://www.kinki-aozei.jp/>

発行責任者/藤原 功子 編集責任者/川上 泰裕

年頭所感



第56代 代表幹事 **藤原 功子**
(兵庫県支部)

会員の皆様、あけましておめでとうございます。旧年中は当連盟の活動に格別のご理解とご協力を賜り心より御礼申し上げます。

本年度の連盟活動はコロナ禍の影響を大きく受けていることは言うまでもなく、コロナ第3波の影響により、昨年11月27日(金)に開催された近税会執行部との懇談会は、急遽オンラインでの開催に変更となり懇親会も中止となりました。事前対策会議を4回行って臨んだ懇談会でしたが、オンラインということで発言のタイミングをうまく掴めなかったり、質問の意図が伝わらないままになってしまったものもあったように思います。例年であれば、懇談会後にお酒を飲みながらより深い話もできていたのですが、今回は消化不良のような形で終わってしまったと感じています。

さて、昨年12月に与党より令和3年度税制改正大綱が公表されました。検討事項として「税理士制度については、ウィズコロナ・ポストコロナの新しい社会を見据え、税理士の業務環境や納税環境の電子化といった、税理士を取り巻く状況の変化に的確に対応するとともに、多様な人材の確保や、国民・納税者の税理士に対する信頼の向上を図る観点も踏まえつつ、税理士法の改正を視野に入れて、その見直しに向けて検討を進める。」という税理士法改正に関する記載がありました。これに関して日税連HPには「本会では、この内容を踏まえ、急速に進む経済社会・納税環境のデジタル化に対応した税理士制度の構築に向け、令和4年度の税理士法改正の実現に向けて取り組んでまいります。」との会長コメントが掲載されています。

コロナ禍により急速に社会は変化し、それに対応するための税理士法改正はもちろん必要と

考えますが、私は、検討事項として書かれた文言の中で最も注目すべきは「多様な人材の確保」ではないかと考えています。日税連会長コメントではこの部分には触れていませんが、この「多様な人材の確保」という言葉に、日税連の次期税理士法改正へ向けた答申項目にあった「8. 学識による受験資格要件を見直すこと」が水面下で着々と進んでいることを匂わせているのではないかと思います。

本年度、連盟制度部の税理士制度委員会では、試験制度や受験資格要件について議論を進めています。非常に難しい論点であり、時間をかけて議論する必要があると考えていますので、本年度中に連盟としての確固たる意見を築き上げることは難しいかもしれませんが、ローマは一日にして成らず、コツコツと議論を重ねることが大切だと思いますので、引き続きオンライン会議を活用した活動を展開していく所存です。

本年も昨年同様、会員の皆様のご理解とご協力を賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。



総務部 活動報告

総務部長 安田 浩二

令和2年度の近畿青税の活動は昨年度から続くコロナウイルス感染症の拡大防止の観点より一部の活動を除き、連盟幹事会、各部部会・委員会はすべてZoomによるオンライン会議により実施しております。例年とは違う執行部運営を余儀なくされる中で、雑感を交えてご報告いたします。

1、連盟幹事会参加人数の前年度比較

	開催日	参加人数	参 考
第1回	6月 6日(土)	22名	前年:20名 開催地:兵庫
第2回	7月10日(金)	24名	前年:17名 開催地:京都
第3回	8月21日(金)	20名	前年:17名 開催地:滋賀
第4回	9月18日(金)	18名	前年:18名 開催地:奈良
第5回	10月16日(金)	18名	前年:19名 開催地:和歌山
第6回	11月13日(金)	18名	前年:17名 開催地:兵庫
第7回	12月11日(金)	15名	前年:14名 開催地:大阪

新執行部スタートから繁忙期に向かうにつれて参加人数が減少していく傾向は例年通り相違ありません。Zoomによるオンライン会議により移動時間の削減が見込めることから参加しやすい環境になっているはずですが、幹事会参加者数に大きな違いは見られませんでした。

第4、5回連盟幹事会後にはZoom懇親会を実施しましたが、参加人数が芳しくなく、悲しい気持ちになったため以後は開催しておりません。オンライン会議システムの特性上、1人の発言者とそれを聞く多数の二通りに分かれるため、どうでもいい雑談をしにくい点はつまらなさを感じるかもしれません。連盟幹事会やその後の懇親会に参加して、個人的な情報交換などで各支部幹事間での交流ができていた頃に比べると、親睦の機会はほぼ失われており、この状況下でこういった形であれば親睦を図れるのか、非常に悩ましいところです。

一方で各部会については会場の確保が不要で移動時間がないことから直前でもスケジュール調整がやすく、少人数で特定のテーマをディスカッションすることについてオンライン会議には大きな利点があるように思われます。

2、事業活動費(総務部費)の上半期予算執行状況

科 目	当初予算額	支出済額	執行率	備 考
総務部費	5,240,000円	1,306,488円	24.9%	
①事務局運営費	1,350,000円	17,189円	1.2%	下半期年払いのため
②会員名簿	300,000円	267,520円	89.1%	
③総会費	750,000円	616,000円	82.1%	
④通信費	180,000円	90,782円	50.4%	
⑤消耗品費	110,000円	43,536円	39.5%	
⑥会議費	200,000円	0円	0%	会場開催なしのため
⑦全青税対策費	2,000,000円	166,740円	8.3%	コロナによる影響のため
⑧雑費	350,000円	104,721円	29.9%	

①～⑤、⑧については例年通り予算執行されており特筆すべき点はありません。⑥会議費については主に連盟幹事会の会場費ですが、会場開催を再開できない状況から現在のところ予算執行はありません。⑦全青税対策費は主に連盟幹事が全国青税理事会へ参加する際の旅費交通費です。本年度の全国青税理事会は会場+Zoomによる方式で開催を続けておりますが、連盟幹事はコロナ禍にあって主にZoomによる参加になっており、本年度はほとんど執行されない状況が見込まれます。

3、最後に

本稿執筆時点の12月下旬においては感染者数が連日過去最多を更新しており緊急事態宣言の再発令も検討され、一向に収束の兆しは見ていません。今後も満足な活動ができない状況が続くことが予想されますが、引き続き近畿青税の活動にご関心をお寄せいただき、ご協力いただけますようお願い申し上げます。



組織部

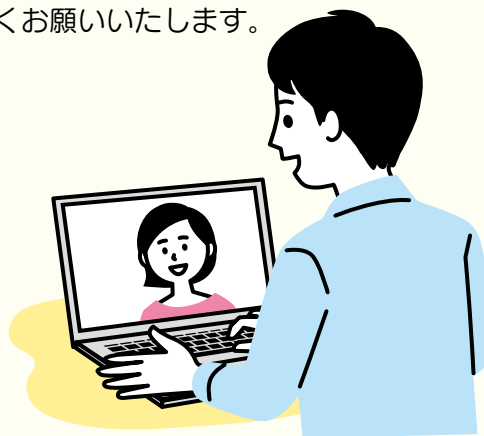
コロナ禍の組織活動について

組織部 笹田 淳

組織部の活動と言えば、毎月の証票伝達式および新人研修会でのチラシ配布が例年の活動です。証票伝達式では近畿税理士会館1Fの廊下で会館来場者の中から新登録者の方を探して声をかけるのですが、税理士会の事務局の方もいれば、大同生命の社員の方もいます。間違えると気まずそうに「違います」と言ってくれる方や、完全に無視する方がおり、心が折れそうになるところを踏ん張ってチラシ配布をしていました。また新合格者じゃないと思って話しかけなかったところ逆にお声がけいただくこともありました。そんな毎月の証票伝達式が今年度はオンラインになったために、そういったことが全くなくなってしまい、寂しい限りです。厳しい状況の中、青税会員を増やすための活動を幹事会で検討した結果、今年度の組織部では10月から毎月近畿税理士界に掲載された新登録者の皆様に連盟のリーフレットと新年互礼会のチラシを郵送することにしております。郵送だと見ていただけることが難しいと思いますが、苦肉の策として予算を使わせていただき、郵送作戦を実行しています。

新年互礼会については例年、TACと大原学園の新合格者祝賀会でチラシを配布していただき、参加者を募っていたのですが、両専門学校共に祝賀会が中止になりました。そこで東京青税主導で、TACでは新合格者の方へのメールに青税のURLを記載していただき、大原学園では新合格者の方への郵送物にチラシを入れていただけることになりました。さらにTAC梅田校、なんば校、神戸校、京都校には小西大阪支部長、藤原代表幹事、原連盟制度部長とともに資料を持参し、新合格者の方への手渡しおよび各校での展示をお願いした結果、快く引き受けていただけました。

新入会員の獲得が厳しい状況ですが、できることを少しずつ行っている状態です。新合格者、新登録者の方のお知り合いがいる場合はお声がけください。会員皆様の力が一番頼りになりますので、ご協力をよろしく願いいたします。



近畿税理士会・近畿青年税理士連盟 懇談会



滋賀県支部 支部長 志村 真二

2020年11月27日午後3時より、近畿税理士会執行部との懇談会が開催されました。新型コロナウイルス感染症の蔓延により、今年は初のZoomを利用したオンライン形式での試みとなりました。

遡ること1カ月以上前より、懇談会出席者による懇談会事前対策会議を繰り返し、質問内容等の確認や検討を行って事前準備を進めていきました。私にとっては、各出席者が提案する質問等が全てよく練られているなど感心しました。

なお、近畿青年税理士連盟からの練りに練った質問内容は以下の通りでした。

1. 税制改正における税理士会が果たすべき役割について
2. 個人番号制度の現状を踏まえたうえでの今後の取り扱いについて
3. テレワーク関連(事務所設置義務その他)について
4. 認定研修の在り方について
5. 支部活動におけるオンライン化への施策について
6. 税務支援について
7. 事業承継支援の取り組みについて
8. 綱紀監察事案のうちの監察事案についての対応
9. 税理士の行政手続きの代理について

私は、昨年も近畿税理士会執行部との懇談会に参加しており、現地での雰囲気はある程度掴めていたつもりでした。しかし、いざ開会となると先方の雰囲気や表情が見て取れず、昨年までとは少し変わった様相で、淡々と進行されていきました。一つの質問に対して10分程度意見交換が行われ、その中で熱い議論が展開されていきました。相手方では常識の範疇の質問内容でも、分からないから聞く、知らないから質問する、それに対して真摯に回答頂く、このような関係性こそが重要なのではないかと感じました。来年以降も形式はどうあれ、近畿税理士会執行部との懇談会が継続されることを願います。最後に、懇談会事前対策会議から近畿税理士会執行部との懇談会までの間に、様々な形でご協力いただいた皆様に感謝と御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

幹 事 会 報 告

●第5回幹事会

日時：令和2年10月16日(金) 於：Zoom 会議室

【報告・依頼事項】

総務部

1. 理事会レポートをE-DESKのファイル管理にアップしていくことについて
2. 第2回会費請求について
3. 全国青税次期会長立候補者の有無の確認について

制度部

1. 制度部会・委員会の開催実績と今後の予定について

組織部

1. TAG、大原の合格者祝賀会案内チラシについて、及び各支部の新合格者祝賀会の開催情報の確認について

各支部報告

【審議事項】

総務部

1. 会員名簿の件…会員名簿CDデータを業者に依頼することについて賛成多数で可決承認された。

組織部

1. 新規税理士登録者に郵送するリーフレットに同封予定の連盟紹介、入会案内文の文面、並びに印刷、発送手続きをジールプラスに依頼する件…文面の細かな修正は組織部長一任、送付対象者はリーフレットを現地配布できなくなった2020年2月登録者より遡って行うこととして賛成多数で可決承認された。

【協議事項】

制度部

1. 秋季シンポジウム論文について
 秋季シンポジウム委員長より全国青税に提出する「事業承継税制」をテーマとする論文の現時点のドラフトについて説明があった。
 諸外国の事業承継税制を例示に、納税の猶予に代わる方法論についてどのように論文に落とし込むかについて協議を行った。

組織部

1. 近畿青税ゴルフコンペについて
 前年度コロナの影響で中止となったゴルフコンペの開催について、開催の是非、開催の時期について協議を行った。



●第6回幹事会

日時：令和2年11月13日(金) 於：Zoom 会議室

【報告・依頼事項】

総務部

1. 第5回近畿税理士会理事会のレポートについて
2. TAC 割引券送付に関する全青理事会審議で承認について
3. 会計中間報告について、及び会計未精算分に関する早期の解消について
4. 会員名簿 CD 発送について
5. 近税会懇談会の Zoom 開催、及び懇親会の中止について

制度部

1. 制度部会・委員会の開催実績と今後の予定について

組織部

1. 新登録者に対する郵送物発送数について

各支部報告

【審議事項】

総務部

1. HP 更新を総務部に一任する件…賛成多数で可決承認された。

制度部

1. 全国青税に提出する秋季シンポジウム論文の件…細かな体裁は秋季シンポジウム委員会に一任の上、内容について賛成多数で可決承認された。

組織部

1. 新登録者に対する郵送物の同封物と各支部準備方法の件…賛成多数により可決承認された。
2. TAC 京都校、梅田校、なんば校、神戸校の校内にチラシを置かせてもらう、掲示してもらう件…賛成多数により可決承認された。
3. 大原学園に対して全青連より納品物を郵送する件…賛成多数により可決承認された。
4. 大原学園各校に交渉してチラシを置かせてもらう件…郵送することもあり反対多数により否決された。
5. 近畿青税ゴルフコンペの日程を4月21日(水)とする件…賛成多数により可決承認された。

【協議事項】

制度部

1. 税制改正意見書(所得税パート)について、委員会での議論内容の説明があり、現時点の意見書について協議を行った。

組織部

1. 近畿青税ゴルフコンペの準備にあたり組織部会を開催したい旨の報告があり、12月3日(木)に開催することとなった。

路 地 裏

皆様、少し遅くなりましたが、新年あけましておめでとうございます。連盟広報部長の川上です。本年もどうぞよろしくお願ひ致します。

今回も皆様にご協力頂きましたおかげで無事に近畿青税248号を発行することができました。原稿依頼を快く引き受けていただきました会員の皆様、この場をお借りしてお礼申し上げます。

昨年は正にコロナ一色の一年でした。前回の247号の原稿を用意しているときには、このまま収束に向かえばいいのにと希望的観測を持っていたのですが、今回の248号の原稿を用意している時点では、感染者数は大幅に増加し、日々、新規感染者数が過去最高を更新したというニュースを聞いて、この先元の日常に戻る日は来るのだろうか、不安に駆られている状況です。

皆様におかれましても、この広報誌がお手元に届くころには、繁忙期に突入するころと思われます。例年以上に体調にお気をつけてお過ごしくださいます。

広報部長 川上 泰裕

